

ヒマラヤの集い 2024 報告

- ◎テーマ：気象予報士のマナスル登山（商業登山）について
- ◎講師：株式会社ヤマテン代表取締役 山岳気象予報士 猪熊隆之氏
- ◎会場：宇都宮コンセーレ 小ホール
- ◎日時：令和6年（2024年）3月2日（土）開会 13：30 閉会 15：30



開会時間の前にほぼ満席。今回は県外からの参加者も多く、会場に用意された書籍も完売になった。猪熊さんの人気のほどが窺われる。渡邊雄二支部長による開会挨拶と講師紹介に続き、講演会開始となった。

猪熊さんは2005年に慢性骨髓炎の発症し、闘病のため、アルパインクライミングを断念せざるを得ない状況から、2009年に世界的な名医の手術により、完治することができた。2011年には登山を再開し、山岳気象予報会社ヤマテンを起業した。当初は一人で運営していたため忙しかったが、知床へのエクスペディションやボリビアのウユニ塩湖へのツアーに参加し、自分が会社を長く空けることがあっても、やっていけることに気づいた。

それがきっかけになり高所登山を再開した。講演は三部構成で、パートIは2019年、NHKの依頼で、アフリカの最高峰・キリマンジャロの紀行番組の天気予報をする話。乾いた北東風と湿った南東風がせめぎあい急変する不安定な気候で、俳優・桐谷健太の最終アタックを陰で支えた。

パートIIも2019年、アンデス山脈最高峰のチンボラッソ、コトバクシの話。チンボラッソはかつて世界で一番高い山とされていた。地球は横長の楕円形のため、赤道に近いこの山の山頂は、地球の中心から最も距離が離れているからである。海に近く寒流、暖流の影響を受け、アマゾン側の湿った空気と乾燥した盆地側からの空気がぶつかり特徴的な気候を有

し、雲を見るのが楽しかった。この遠征には渡邊支部長も参加し、登頂を果たした。

パートⅢは2023年、商業公募隊に参加したマナスルの話。BCには登山家の野口健さんや人気登山ユーチューバーのかほさんがいた。商業登山は、歩行度差があり、登山技術・経験が未熟な隊員によるアクシデントが起こりやすい。猪熊さんは6700mのC3まで順調に高度順化した。予定ではC4には立ち寄らず、C3から頂上アタックだが、酸素が上手く吸えず、危険を感じ、好天も続くと思われたので、C4で宿泊することを強く主張した。しかし、なぜかガイドはC4に立ち寄ることに難色を示した。その理由は隊のテントやシュラフが荷揚げされてないからだった。仕方なくもぐりこんだテントのファスナーは壊れていた。応急の修理をしたが、強風で寒かった。コロナの影響で、高所キャンプ設営が間に合わなかったと思われる。後で知ったが、酸素が出なかったのは、ガイドが猪熊さんは高所に強いと判断し極端に酸素量を絞ったことが原因だった。日が昇ってから出発したので、風もおさまり、渋滞も回避でき、昼間に活動することができた。頂上からその日のうちにC2まで下りることができた。

講演後、質疑応答があり、支部長の情報提供と謝辞で終了した。2時間があったという間だった。その後講師を囲み関係者15名で懇親会を行った。(文責 猿山)

